

中核市移行基本計画（案）の修正について

【修正前】

1. 中核市移行基本計画の策定趣旨

(3) 自律的な総合行政体の実現に向けて

- ・社会経済環境や住民意識が大きく変化する中であって、基礎自治体にはどのような規模であれ住民福祉の向上のためにその権限を拡大し、地方分権の受け皿たる自律的な総合行政体を標榜する使命がある。
- ・首都圏にありながら地方圏の様相を呈する県西地域にあって両市は、すでに担っている権能を生かして今後も集約の核としての役割を果たし続けていくために、条件が整えば中核市への移行を目指すべきであると考ええる。
- ・そこで、平成28年3月に小田原市が策定した「中核市移行基本計画（案）骨子」を基に、中核市への移行に際して期待される効果・メリットと移行に伴う課題を精査するとともに、移行作業を着実に進め移行後の円滑な市政運営が図られるよう、本計画を策定する。

【修正後】

1. 中核市移行基本計画の策定趣旨

(3) 自律的な総合行政体の実現に向けて

- ・社会経済環境や住民意識が大きく変化する中であって、基礎自治体にはどのような規模であれ住民福祉の向上のためにその権限を拡大し、地方分権の受け皿たる自律的な総合行政体を標榜する使命がある。
- ・首都圏にありながら地方圏の様相を呈する県西地域にあって両市は、すでに担っている権能を生かして今後も集約の核としての役割を果たし続けていくために、条件が整えば中核市への移行を目指すべきであると考ええる。
- ・なお、中核市への移行については、合併後の市において市民への適切な情報提供と十分な説明により市民の理解を深めた上で、是非を判断することが必要である。
- ・そこで、中核市への移行に際して期待される効果・メリットと移行に伴う課題を精査するとともに、移行作業の取組の考え方を示すため、本計画を策定する。